

江別市出身 育成で阪神入団

早川 初先発で初勝利

阪神 2-1 DeNA

巡ってきたプロ初先発のチャンスを生かした。阪神の25歳新人、早川が5回2安打無失点の力投でプロ初勝利。育成ドラフト3位入団から7月に支配下選手登録され、ウイニングボールを手にした道産子右腕は「すごくうれしい。諦めず頑張ってきた良かった」と笑みを浮かべた。

江別市出身。樽商大を出て、北広島市役所で働いた。クラブチームのウイン北広島で注目されるようになり、昨年から2軍公式戦に参加する、くふうハヤテで力を伸ばした。阪神入団後は2軍で好投を続け、支配下選手契約を勝ち取った。背番号は

気迫77球 5回無失点

129から31に変わった。

独特のためがある投げ方で打者にはタイミングが取りづらそうな上、球が適度に荒れ、的を絞らせなかった。四回は先頭に初めて安打を許した後、脚をつりかけ、ベンチ裏で治療した。戻ったマウンドで集中力を保って後続を断ち、五回は2死三塁で蝦名を高め、球で空振り三振に仕留めた。

救援でプロデビューした7月16日の中日戦では舞い上がり、ボークで三走を本塁に生還させてしまった。「今度こそ絶対にやっつけよう」と、気迫77球だった。異色の新人がチームを4連勝に導き、優勝マジックは「12」となった。



プロ初先発で5回2安打無失点と力投した阪神・早川